

音楽による  
福島まち造り2019

music from  
**JAPAN**

# 沖縄音楽 と 琉球舞踊

ミュージック・フロム・ジャパン  
音楽祭 福島



## 11/24(日) コンサート 琉球の音色

13:30～ 開場

14:00～ 開演

16:00～ 古関裕而記念館サロンにてふれあい交流会

「八重山民謡」

新良幸人(唄・三線) / サンデー(島太鼓・囃子)

「鷺ぬ鳥節(琉球舞踊)」

創作舞踊集団 結華

「宮古方言歌」

下地イサム(歌・ギター)

「創作エイサー」

創作舞踊集団 結華

「沖縄本島民謡」

松田しのぶ(唄・三線) / サンデー(島太鼓・囃子)

ミュージック・フロム・ジャパン委嘱作品

「シディガフー」

新良幸人(唄・三線) / 下地イサム(歌・ギター) / 松田しのぶ(唄・三線) / サンデー(島太鼓・囃子)

会場: ふくしん夢の音楽堂 大ホール (福島市音楽堂)

〒960-8117 福島市入江町1-1

TEL.024-531-6221 FAX.024-531-6257

<http://www.f-shinkoukousha.or.jp/ongakudou>

古関裕而記念館サロン(ふれあい交流会)

<http://www.kosekiyuji-kinenkan.jp>

チケット 全席自由 3,000円(税込) ふれあい交流会費込 4,000円(税込)

プレイガイド チケット一般発売: 8月1日(木)～ ※プレイガイドによって発売時間は異なります

・ふくしん夢の音楽堂

(福島市音楽堂) [インターネット]

<http://www.f-shinkoukousha.or.jp/ongakudou>

・中合福島店 ・福島テルサ

・CNプレイガイド

セブンイレブン(店内マルチコピー機セブンチケットより) ファミリーマート(店内Famiポートより)

コールセンター TEL.0570-08-9999 (10:00～18:00) 年中無休 ※オペレーター対応

・ローソンチケット Lコード: 23102

TEL.0570-084-002 [24時間受付]

[店頭] ローソンLoppi

[インターネット] <http://l-tike.com/> (PC/携帯共通)

## 11/25(月) 子どものための沖縄音楽体験教室

福島市立庭坂小学校

9:00～ ミニ・コンサートとワークショップ

会場: 福島市立庭坂小学校 〒960-2261 福島市町庭坂字愛宕堂1-1

連絡先: 024-591-1106

飯館村立小中学校

13:30～ ミニ・コンサートとワークショップ

会場: 飯館村立小中学校 〒960-1803 相馬郡飯館村伊丹沢字山田380番地

連絡先: 0244-42-1631 (教育委員会)

沖縄そして石垣島の伝統音楽を現代に伝える新良幸人、八重山の伝統を引き継ぎながら新しい息吹を沖縄音楽に吹き込んでいる下地イサムなど、第一線で活躍する演奏家と、優雅な琉球舞踊の踊り手による公演やワークショップを通して、沖縄の伝統と現代の様相を身近に体験。ひいては、福島、沖縄そして日本が、太平洋文化圏の中でどの様な位置を占めているかなど、世界的な視野から自分たちの郷土を考える機会を提供したいと願っています。

## PROFILE

唄・三線

### 新良 幸人 ARA Yukito

1967年沖縄県石垣市白保生まれ。八重山民謡を11歳から父親(新良幸永)に師事。17歳で八重山古典音楽コンクールで最高賞を受賞。18歳より大学進学のため石垣島を離れ、そのまま那覇在住である。現在はパーシャクラブやアコースティック・バーシャのヴォーカル&三線奏者として、また同じパーシャクラブの太鼓、仲宗根哲(サンデー)と2人での活動も平行して行う。シングル「ファミレウタ」はTBS系「筑紫哲也ニュース23」のエンディング曲に起用された。2003年11月にはソロアルバム「月虹(げっこう)」を発表。2011年10月にはティチク・タクミノートより、ピアニスト・サトウユウ子とのコラボレーションアルバム「浄夜」をリリース。モントリオール国際映画祭にて二冠を受賞した。映画「カラカラ」(2013年1月全国公開)で音楽監督を担当。その他、下地イサムとのユニット・THE SAKISHIMA meetingや、角松敏生、coba、夏川りみ、犬山イヌコ等のアルバムにも参加し、その活躍も多方面に広がっている。



唄・三線

### 松田 しのぶ MATSUDA Shinobu

沖縄県中部、北谷町で生まれ育つ。祖父、弘は野村流古典音楽の師範で、父・弘一は沖縄民謡界を代表する三線の奏者であり、幼い頃から、名手の奏でる三線の音色に慣れ親しんで育った。そして、唄・三線に磨きをかけ、1990年に琉球民謡協会新人賞を、2001年には同協会優秀賞を受賞する。また、同年「輝け!民謡アカデミー」に出場し、アカデミー大賞を受賞するなど、沖縄民謡界のサラブレッドとして、めきめき頭角を現してきた。2002年には、本人初のCDアルバム「ハリヨイ美童」をリリース。自身のライブ活動だけにとどまらず、角松敏生のライブツアーに参加するなど、他アーティストとの共演、メディア出演とその幅を広げている。近年、三線の師範免許を取得。色香を放ち、芯の通った声で情感豊かに歌い上げるスタイルはファンを魅了してやまない。2010年、8年ぶりの新CD「月さか」をリリースし、その活動は全国に広がっている。



歌・ギター

### 下地 イサム SHIMOJI Isamu

オリジナル曲のほとんどを、出身地宮古島の言葉(ミャークフツ)で歌うオンリーワン・アーティスト。高校卒業後、音楽とは無縁の生活をしてきたが、30歳の時に転機が訪れ、シンガーソングライターになる。2002年8月にインディーズでシングル「我達が生まれ島」(ばんたがんまりずま)をリリース。2005年にはインベリアルレコード(ティチクエンタテイメント)からメジャーデビューを果たし、これまで14枚のアルバムをリリース。シングル「おぼあ」がTBS「はなまるマーケット」のエンディングテーマに採用され、NHK「トップランナー」にも出演する。新良幸人とのTHE SAKISHIMA meetingや、「シモブクレコード」(BEGINのギタリスト島袋優とのユニット)など、ソロ以外でも活動の幅を広げている。また、岩崎宏美、夏川りみ、NENEZ等、数々のアーティストへの楽曲提供も行っている。現在は沖縄本島を拠点に、県外・海外でのライブ活動を展開中。2018年には「MARKING OUT」、「GAFU」と2枚のアルバムをリリース。



琉球舞踊

### 創作舞踊集団 結華 YUIBANA

結…人と人を結び結の心。華…華のように見ている人が幸せな舞台を。2011年、舞踊家3名で立ち上げた結華は沖縄の伝統芸能である琉球舞踊やエイサーを沖縄ポップス曲に合わせてダイナミックに繰り広げる集団。結華所属メンバーは、それぞれが琉球舞踊や古武道の教室に通い、伝統的な基礎を学びながら創作舞踊に取り組んでいます。結華が常に心がけている事…「沖縄の伝統を守りながら新しい宝(もの)を創り上げる」を追求し新しい感性を求め創作舞踊に活かしています。結華の舞踊は枠にとらわれずジャンルを超えた方々との合作にも積極的に取り組み新たな作品づくりに挑戦しながら、創作舞踊や創作エイサーの指導者としても活動しております。若い世代からお年寄りまで幅広い方々の支持を受け、県内はもちろん県外にもその活動の幅を広げています。



島太鼓・囃子

### サンデー Sunday

本名・仲宗根哲。1970年1月19日大阪生まれ、石垣市白保育ち。新良幸人withサンデー、パーシャクラブの太鼓・パーカッション奏者。従来の島太鼓とはひと味違うエモーショナルな演奏スタイルを確立。高校時代に新良幸人とのバンドでドラムを務め、その後、幸人に誘われ八重山高校郷土芸能クラブに入り島太鼓を手にする。中米、中東、アジア等海外公演も多数経験。大島保克、夏川りみ等のツアーでも活躍。



## ミュージック・フロム・ジャパン

ミュージック・フロム・ジャパン(MFJ)は、1975年三浦尚之が設立。以来ニューヨーク

州芸術評議会をはじめ、国際交流基金、文化庁、日米の財団、在米日系企業など多方面からの支援を得て、音楽を通しての文化交流に努めている。音楽之友社賞、外務大臣表彰、新日鉄音楽賞、中島健蔵音楽賞、国際交流基金奨励賞に加え文化庁長官表彰が授与された。ニューヨークにおいて1994年に開かれた日本音楽資料センターでは、日本の音楽や文化に関する世界中からの様々な問い合わせに対応している。



三浦 尚之  
MFJ芸術監督

## 音楽による福島まち造り実行委員会

- 委員長 三浦 尚之(福島市音楽文化総合アドバイザー)
- 委員 本間 稔(福島市教育委員会 教育長)
- 菊地 威史(公益財団法人福島市振興公社 理事長)
- 三宅 祐子(福島市文化団体連絡協議会 会長)
- 中野 新一(福島県伊達医師会 会長)
- 吉原 泰助(元国立大学法人福島大学長)
- 監査 渡部 康(一般財団法人桜ヶ丘病院 理事長)